

4 障害者の人権問題

障害のある人が暮らしやすいまちって？



ワークI どう思いますか?

- 公園で、ほかの子どもと一緒に遊ばずに、砂場でもくもくと一人で遊んでいる子どもがいます。保護者に尋ねると発達障害があるということでした。発達障害について知っていることをあげてみましょう。

ワークII 考えてみましょう!

- 障害のある人との出会いや関わりについて振り返ってみましょう。

ワークIII 語り合おう できること!

- 誰もが暮らしやすいまちづくりをするために、地域でできていることをあげてみましょう。また、これから地域でできることや自分ができることは何だと思いますか?

4 障害者の人権問題

発達障害の特徴

発達障害は脳機能の障害であり、障害があることは外見からはわかりにくいいため周囲から誤解を受けやすい様々な特徴があります。育て方や家庭環境によって引き起こされるものではありません。

資料① 発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD) その他これに類する脳機能障害であって、その症状が通常低年齢で発現するものをいいます。

自閉症とは？

「人との関わりにくさ」「コミュニケーションのとりにくさ」「特定のものへのこだわりや想像力のとぼしさ」といった特徴があります。

アスペルガー症候群とは？

知的に遅れがなく、言葉の遅れも目立たない自閉症のグループです

学習障害(LD)とは？

「聞く」「話す」「読む」「計算する」「推論する」の学習に必要な能力のうち一つまたは二つ以上について、身につけることが難しい障害です。



注意欠陥多動性障害(ADHD)とは？

年齢にそぐわない「多動性」「衝動性」「不注意」を特徴とする障害で、就学までにその特徴があらわれ、継続します。



障害のある人が暮らしやすいまちづくりは、誰もが暮らしやすいまちづくり

資料②

障害者とは

障害者基本法第2条では、「障害者」とは、「身体障害、知的障害、精神障害(発達障害を含む。)その他の心身の機能の障害(以下「障害」と総称する。)がある者であつて、障害及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあるもの」と定められています(同条第1号)。

また、ここでいう「社会的障壁」とは、「障害がある者にとって日常生活又は社会生活を営む上で障壁となるような社会における事物、制度、慣行、観念その他一切のものをいう」と定められています(同条第2号)。

あなたのまちのバリアフリー・ユニバーサルデザインは？

資料③

バリアフリー以前



バリアフリー



ユニバーサルデザイン



はじめてから段差をつくらない!

様々な障害について考えてみましょう。

★一歩進んで★

障害者が虐待を受けていると感じたら？

虐待を受けたと思われる障害者を発見した場合、市町の障害者虐待防止センターへ速やかに通報することが義務づけられています。

こころのバリアフリーも大切なのだ!



支援するときは、まず本人の意思を確認

語り合しましょう!

障害に応じた配慮

ボランティア

自立支援サークル活動

災害時の支援

一歩、行動に移してみませんか？

レクリエーションやスポーツ大会への参加促進

障害のある人が暮らしやすいまちは、誰もが暮らしやすいまちです。ふれあいや語り合いを通じて、みんなが暮らしやすい地域づくりを進めましょう。